

# 教職員のゆとり確保に向けて

平成30年度 前橋市教職員のゆとり確保検討委員会

心のゆとり……気持ちよく楽しく過ごせる職場づくり  
身体のゆとり……無理なく時間を確保し、やるべき仕事ができる

まずは一人一人の教職員が、やりがいをもって生き生きと活動できる職場をつくりましょう。  
同時に、学校の教育活動を充実させるために必要な時間を確保しましょう。

平成20年1月の「教員のゆとり確保に関する提言」以降、各学校並びに市教委は、ゆとりの確保を目指し、様々な工夫や実践をすすめてきました。ここでは学校と前橋市教育委員会の取組の一例を示しました。学校の状況に合わせて、参考にしてください。



## 改善の視点① 勤務時間内の業務の効率化

子どもと向き合う時間を確保するために、業務の効率化を図る必要があります。そのために、学習集団の編制等を工夫し、負担軽減を図りましょう。また、会議や研修の運営を工夫し、時間の短縮を図りましょう。

### 学校の取組例

- 特配や前橋小学校教科指導講師を活用して小学校で教科担当制を行い、持ち教科数を精選し教材研究の充実を図る。
- 小学校の2学級編制された学年では、学級編制基準を超えない人数で弾力的な学習集団を編制することで、教員が教材研究や事務処理を行える時間を確保する。
- サーバー内の共有フォルダの構成を工夫し、教材や資料等の作成、活用を効率的に行う。
- 小規模校においては、運営委員会をカットし、他の部会等も職員会議の中に組み込む。
- 会議は月曜のみとする。C4thを活用し朝の打ち合わせをカットする。
- 運営委員会やその他の部会（学年会を含む）を校時表の中に組み込む。

### 教育委員会の取組

- C4thによる文書連絡は原則午前中に行うこととし、標題やファイル名の表示方法を分かりやすくしたり、送付文書を精選したりなどの工夫をする。C4thの使い方について、市教委内での共通理解を徹底する。
- 会議や研修の必要性を吟味し、開催時期等の見直しをするとともに、出張回数と事前準備の負担軽減を図る。
- 調査や報告書の内容を吟味し、資料作成の負担軽減を図る。

## 改善の視点③ ワークライフバランスを意識した取組

見通しをもって職務に取り組み、定時退勤を目指すことで、教職員一人一人の心身のリフレッシュを促し、ワークライフバランスにもつながります。出退勤時刻の記録から教職員自身が客観的に勤務状況を把握し、仕事の取り組み方を見直して意識改革を図りましょう。

### 学校の取組例

- 定時退勤デーを設定したり、退勤時刻を連絡黒板に掲示したりする。
- 定期テスト前の部活停止期間を、定時退勤デーとする。
- 中学校においては、完全下校+1時間を退勤の目安とする。
- 校内における提出物については、早めに周知し、急な資料提出等 evitar。



### 教育委員会の取組

- 提出や回答を求める文書については、ゆとりをもって提出できる期限に設定する。
- 出退勤時刻を記録することで、一人一人の教職員が「勤務時間」を意識した働き方を推進する。
- 教職員の健康と安全の推進に努めるため、全校でのストレスチェックの適正な実施を推進する。

## 改善の視点② 勤務時間外に及ぶ業務の軽減

部活動等、時間外の業務や慣例的な業務を見直していくことが大切です。そのために、部活動等も含めて、時間外の業務が過度な活動とならないように、負担軽減を図っていきましょう。

### 学校の取組例

- 登下校指導について、PTAや地域の協力者等が中心となって活動できるようにする。
- 下校時刻を早めて、放課後の時間を確保する。
- 小学校における陸上指導や水泳指導は交代制とする。
- 中学校における部活動においては、市の方針に則って学校の方針を作成し、適正な部活動運営を行う。
- 部活動の開始時刻を早めることにより、終了時刻を早める。
- 主顧問と副顧問が協力し合い部活動の指導を交代制にする。



### 教育委員会の取組

- 国のガイドラインや県の方針に則り、市の「適正な部活動の運営に関する方針」を策定した。市内の学校が同一歩調で部活動に取り組めるよう指導する。
- PTA、中体連、地域等の各種団体にも、教職員の負担軽減のために、運営の仕方の見直しをお願いする。

## 改善の視点④ 組織的に取り組む体制づくり

一部の教職員が負担過重とならないような配慮が大切です。校長のリーダーシップのもと、校務組織を見直し、チームとして組織的に取り組む学校運営を推進しましょう。

### 学校の取組例

- 職務を遂行するにあたり、負担が大きい職員にはサポート体制を考える。
- 財務に精通した事務職員と連携し、会計業務の助言や支援を得るようにする。
- 小学校では、特配や前橋小学校教科指導講師等を活用することにより、教材研究や事務処理の時間を確保する。
- 学習サポーター、スクール・アシスタント、前橋校務補助員等の非常勤職員を活用することにより、教員が充実した授業を行えるようにする。



### 教育委員会の取組

- 教員が子どもと向き合う時間を確保し、質の高い授業や個に応じた指導ができるように、「まえばしスクールサポート事業」として非常勤職員の配置を推進する。
- それぞれの学校の実態や要望に応じて、SSW等の専門的な職員を派遣する。

ゆとり確保に向けて具体的な改善策に積極的に取り組んでいきましょう！